

薩摩川内

広報 9
さつませんだい

9
September.2024
vol.478



与謝野夫妻
薩摩川内を詠む



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら



与謝野夫妻の旅程(昭和4年7月22日~8月5日) 本市で訪れた場所を紹介します

- 7月28日 川内高等女学校(現：川内高等学校)で講演
- 7月30日 市比野温泉緑旅館宿泊(現：割烹旅館みどり屋)
- 7月31日 新田神社→可愛山陵→旅館高瀬屋(現太平橋付近)→川内川下り清遊(久見崎まで)
- 8月5日 旅館高瀬屋にて食事

この旅行は鹿児島市や霧島、南薩方面など広範囲にわたっていたんだって!



新聞にも書かれているね

▲与謝野夫妻の本市来訪を伝える記事
(鹿児島朝日新聞 昭和4年7月31日(鹿児島県立図書館蔵))



▲割烹旅館みどり屋
大正時代建築の木造3階建てです。

ほのぼのと 川内川の夕映えの
ばら色をして めぐりたる船
月光に比すべき 川の流るるや
薩摩の国の 川内郷に

与謝野晶子



◀ Google マップ

●西開聞町

われ乗りて 西湖の船に 擬するなり
それより勝る 大川にして

与謝野晶子



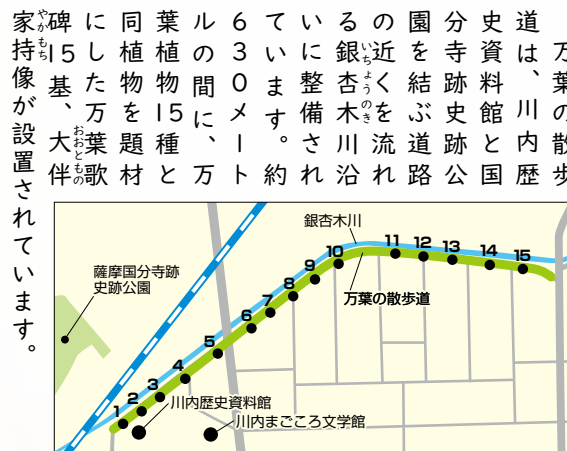
◀ Google マップ

●神田町

与謝野夫妻の歌碑は
こんなところにも



与謝野夫妻の歌碑に限らず、芸術に触れてみてはいかがですか。



万葉の散歩道

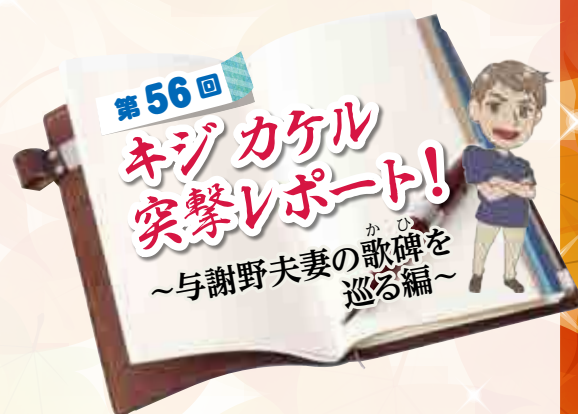
他にも歌碑がたくさん!



令和3年度
広報薩摩川内
3月通常版
「人のとなりに」▶



秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、そして芸術の秋。川内まごころ文学館では、本市に係のある文学者の展示やその他芸術作品など、さまざまな芸術に触れることができます。その中でも本市にゆかりのある山本実彦。令和3年度広報薩摩川内3月通常版「人のとなりに」で取り上げました。そこで今回は、山本実彦と関係の深い与謝野鉄幹・晶子夫妻に注目し、和歌やその歌碑について紹介します。



与謝野夫妻のプロフィール



提供：川内まごころ文学館
▲与謝野鉄幹(左)と晶子(右)

与謝野夫妻が市比野に

山本実彦は旧川内市出身で、東京で「改造社」という出版社を経営し、数多くの文学者と親交があったそうです。そのため、昭和4(1929)年、与謝野夫妻は彼の招きにより、鹿児島を訪れています。

与謝野夫妻は滞在期間中、市比野温泉を訪れ、現在も旅館として営業されている、割烹旅館みどり屋に宿泊しました。近くを流れる川を詠んだ歌が歌碑に刻まれています。

晶子は滞在期間中、約350首の歌を各地で詠んだのだとか。



▲山本実彦像(大小路町)

川内まごころ文学館の学芸員によると、近くの川を流れる水の音を聞いて、この歌を詠んだんだって!



▲ Google マップ



水鳴れば 谷かと思ひ 遠き灯の
見ゆれば原と 思ふ湯場の夜
与謝野晶子



●樋脇町市比野

歌碑を見に行こう!

人と自然をつなぐ

甌島ツーリズム推進協議会 活動推進員 西手達三さん
活動推進員の仕事には、環境を守るための活動があります。
力を入れていることのひとつが、甌島に自生している市花のカノコユリの保存です。近年減少傾向にありますが、次世代に継承するために、カノコユリが草原いっばいに咲いている「みっちり草原」の整備や外来種であるシンテッポウユリの駆除などを行っています。過疎化が進む中、若い世代にどう伝えていけるかが課題です。「できない理由を探さない、できることからコツコツと」をモットーに、活動推進員の活動をしながら一つずつ課題をクリアして、甌島の自然を継承していきたいです。



◎次世代の声

西手さんからみっちり草原の整備を受け継いでいる中潟史也さんに話を聞きました。

転職を機に帰郷し、「茶やみっちり」をオープンしました。みっちり草原のカノコユリを守るために、遊歩道の整備などを行っています。これからの担い手として、まずはカノコユリがこれからも咲き続けるよう、環境保全を第一に考えて活動をしていきたいです。

観光客へインタビューをしました

◎始良市からの個人旅行者

近隣の島では1番交通の便が良かったので甌島観光を決めました。瀬尾観音三滝や長目の浜などを見ました。海がとてもきれいで、また来たいと思いました。

◎神奈川県からの団体旅行者

カノコユリがきれいだと知人に聞いて、初めて来ました。自生のカノコユリを見ることができて、良かったです。

9月10日～10月10日の記念事業

市民の皆さんと共に祝いする記念事業を紹介します。記念事業の一つである冠事業は、市や各種団体などが実施する既存のイベントなどで、市誕生20周年を広く周知するために「市誕生20周年記念」の冠を付して実施しています。冠事業として実施するイベントを随時募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

時	内 容	場 所
9月	12日(木) 【甌ミュージアム開館プレイベント】恐竜化石巡回展(～9/24)	S S プラザせんだい
	14日(土) 薩摩川内子供大綱引	川内川河川敷
	22日(日) 【甌ミュージアム開館プレイベント】化石講演会 川内大綱引 鳥丸ふるさと祭り	S S プラザせんだい
		国道3号向田側
		旧鳥丸小学校体育館
	26日(木) 【甌ミュージアム開館プレイベント】恐竜化石巡回展(～10/8)	祁答院支所
	28日(土) 薩摩川内音楽祭 コカフェス2024	S S プラザせんだい
10月	4日(金) KOSHIKI ART 2024 -再生と兆し- (～11/4)	甌島
	10日(木) 【甌ミュージアム開館プレイベント】恐竜化石巡回展(～10/22)	入来支所

※募集が終了しているイベントもあります。



本市には、貴重な自然や優れた景観が多く存在します。甌島もその一つで、多様な海岸景観をはじめとした優れた景観などが評価され、平成27年3月に、国定公園に指定されました。雄大な自然を体感しようと多くの観光客が訪れる場所となっています。

今回は、甌島区域の魅力を次世代へつなげていこうと各分野で活動されている方々を紹介します。



①長目の浜展望所 ②甌大橋(鳥ノ巣山展望所より) ③瀬尾観音三滝 ④みっちり草原

甌島の魅力をつないでいる方々にインタビューをしました

観光客と地域の人をつなぐ

観光ガイド 純浦嘉孝さん

甌島には歴史的なものも含め、魅力ある多くの地域資源があります。最近、外国からのクルーズ船も度々来ています。甌島特有のものを大事にし続けて、これらをどうやって国内だけでなく世界的にも広めていけるかを考えながら日々の活動をしています。

観光ガイドとして見るだけの観光ではなく、自分が持っている歴史などの知識も併せて、甌島の魅力を広めていきたいです。また、観光だけで完結させるのではなく、他事業と連携し、産業化に結びつくような取り組みができればと思います。



▲純浦さん(左)

地域と人をつなぐ

青瀬地区コミュニティ協議会会長 東実さん

地域をどう盛り上げていくかや、地区コミュニティ協議会会長としての役割について考えながら活動しています。

甌大橋が開通したことで、多くの島民と直接顔を見て情報交換ができるようになり、人的交流が増えました。前会長から引き継いだ行事は今でも全て開催しています。これからも継承しながら、甌大橋が開通して可能となった、他地区と一緒に一つのイベント行事を開催したいです。

